

新たなまちづくりを一步一步。

大熊町

役場庁舎をはじめ公営住宅、交流・商業施設、医療・福祉施設などが集積する大川原地区を中心に、周囲に大規模なソーラー発電や太陽光を利用した植物工場などが建設され、新たなまちづくりが着実に進んでいます。



お土産に

いちご
いちご
いちご
いちご

会津木綿のぬいぐるみ あいくー

いちご
こんにやくゼリー

大熊町
マスコットキャラクター
まあちゃん

いちご
セミドライ
フルーツ

※あいくーは現在、通販のほか、
双葉町産業交流センター内売店で販売しています。

ダムカードがもらえる!

1973年に灌漑と福島第一原発の発電用に建設された坂下ダム。ダム好きの中で話題のダムカードは、平日は坂下ダム管理事務所、土日祝日は大熊町役場で配布しています。

それは見事な桜の競演。

坂下ダム D-5

町の桜の名所として知られ、4月頃ダム湖畔に約500本のソメイヨシノが咲き誇ります。他にもシダレザクラ、ヤマザクラ、ヤエザクラなどが咲き競い桜の競演が楽しめます。6月から7月にかけては紫陽花が見頃を迎えます。

◎ 大熊町大川原字手の倉 125
◎ JR常磐線 大野駅から車で約15分
◎ 坂下ダム管理事務所 ☎ 0240-32-2318



たくさんの笑顔をつなぐ。

大川原地区復興拠点 E-5

町役場新庁舎のほか復興公営住宅等が整備され、新たなまちづくりの拠点となっています。福祉関連施設や商業施設「おおくまーと」に加え、2021年10月に交流施設「link 大熊」と宿泊温浴施設「ほっと大熊」がオープンし、復興拠点として新たな交流を育んでいます。

◎ 大熊町大川原字南平 1207-1
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分
◎ 交流施設 link 大熊 ☎ 0240-23-7676
◎ 宿泊温浴施設 ほっと大熊 ☎ 0240-23-5767

駅周辺が避難指示解除に。

JR大野駅 E-4

2022年6月30日、特定復興再生拠点区域である駅周辺の避難指示が解除されました。行政機能などが集まる大川原地区へのアクセスがスムーズに。駅からは、大川原地区への生活循環バスが毎日運行しています。

◎ 大熊町下野上字大野
◎ JR常磐線 大野駅内
◎ 大熊町生活支援課(バス) ☎ 0240-23-7456



大熊町の新名物! いちご。

いちご植物工場 E-5

太陽光を利用した植物工場で、年間を通して栽培しています。いちごは12月から5月にかけて、直売所(火・木・土12~13時)、役場前のヤマザキショップ(月・水・金)、道の駅ならば(土・日)で購入できます。※いちご狩りは行っていません。

◎ 大熊町大川原字西平 2127
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分
◎ ネットカフェおおくま ☎ 0240-23-7671



ふるさとの祭りはいいもんだ。

なつ祭りinおおくま E-5

大熊町へ来ていただくきっかけに! 出会いと再会を喜び合う夏祭り。町役場前の広場に屋台が並び、盆踊り、町出身ミュージシャンのステージ、BBQなどで盛り上がりします。

◎ 大熊町役場みんなの広場(大熊町大川原字南平 1717)
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分
◎ おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局 ☎ 0240-23-7101



企業を呼び込む新拠点。

大熊インキュベーションセンター E-4

新たな産業づくりや若手起業家を育てる場所づくりを目的とした施設。町立大野小学校の校舎を改修し2022年7月に開所しました。廊下の水道や黒板など、所々に学校の雰囲気が残ります。

◎ 大熊町下野上清水 230
◎ JR常磐線 大野駅から車で約5分
◎ 大熊インキュベーションセンター ☎ 0240-23-7721

中間貯蔵施設の見学も可能。

中間貯蔵工事情報センター E-5

除染で発生した廃棄物等を安全に貯蔵する中間貯蔵施設について、映像などでわかりやすく学べます。中間貯蔵施設の作業現場を視察できる見学会も開催しています。※詳しくはHPをご確認ください。

◎ 大熊町小入野字向畑 256
◎ 日曜、月曜、年末年始
◎ 10:00~16:00※当見学会は事前予約制
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分
◎ 中間貯蔵工事情報センター ☎ 0240-25-8377



大熊町役場周辺

至国道288号 至大熊IC 至大野駅

JR大野駅と大川原復興拠点、JR富岡駅の間を結ぶ電気バスが毎日運行しています。(町民以外も利用可能)

町民と福島高専の生徒たちが色とりどりの花畑を作り、訪れる人たちに笑顔を届けています。

巨大ビニールハウスはまさに工場!

ソーラーパネル展望台

このてひばのひーちゃん

酒米づくり

八幡神社

大熊町役場

大川原地区復興拠点

2023年8月、0歳から15歳までの子どもたちが学ぶ町立学校の校舎が完成しました。

学び舎 ゆめの森

大川原地区復興拠点

2019年4月の避難指示解除後、町役場新庁舎を中心に発展を続ける大熊町の新たな拠点。公営住宅のほか、福祉施設や商業施設、宿泊・温浴、交流施設がオープンしました。

3.11希望の灯り

日かみ辺りか音になると、たくさんの淡い光が飛び交う美しい光景を見ることが出来ます。(6月頃)

常磐自動車道

常磐富岡IC

至富岡町

Pick up

避難先への恩返し、日本酒「帰忘郷」。

期待ふくらむ「新たな特産品」

2020年9月、大川原地区の43アールの水田で初めて酒米が収穫されました。全国の皆さまと町の避難先だった会津若松市への感謝の気持ちも込めて、同市の酒蔵に醸造を委託し、2021年に「会津娘 帰忘郷」としてお披露目されました。

※数量限定で販売中
◎ 一般社団法人 おおくままちづくり公社 ☎ 0240-23-7101



豪農の暮らしぶりを伝える。

石田家住宅、渡部家住宅 E-5

江戸末期から昭和初期にかけて、豪農の暮らしを伝える建築物として、どちらも国の登録有形文化財に登録されています。※住宅内部はご覧いただけません。

【石田家住宅】(左の写真)
◎ 大熊町大川原字西平 160
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分
◎ 大熊町教育総務課 ☎ 0240-23-7532



【渡部家住宅】(右の写真)
◎ 大熊町大川原字南平 275
◎ JR常磐線 大野駅から車で約10分